

令和3年度第5回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和3年12月16日（木）午前9時30分から10時30分

と ころ：市役所6階 大会議室 WEB会議

1 出席者

小平市社会教育委員	9名
傍聴者	2名

2 内 容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

- (1) 第52回関東甲信越静社会教育研究大会 東京大会について（報告）
- (2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について（報告）
- (3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について（報告）

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

- (1) 令和3年度青少年健全育成講演会について（報告）
- (2) 第39回小平市中学校生徒意見発表会について

【公民館】

- (1) 公民館主催イベント（11月）について（報告）
- (2) 公民館主催イベント（1月）について

【図書館】

- (1) 第42回ふるさとの新聞元旦号展について

<その他>

特になし

3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

<議題>

○第52回関東甲信越静社会教育研究大会 東京大会について（報告）

委員 みんながつくる社会へ、人生100年、AIなどがテーマとなっていた基調講演を興味深く聴いた。最近の例では、地域包括支援システムが公民館と協働しようとしているがコミュニティの基盤ができていないとだめだと感じた。小平市では全小学校区に青少対があり、子ども会があり、地域がうまく回っているので、その受け皿として公民館活動などが持続していると思う。

○東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について（報告）

委員 講師の話で、目的、目標に向かって、情報をつなげていくことが社会教育委員の役割ではないかということを知り、とても勉強になった。

研修で印象を受けた言葉として、共感的理解、肯定的関心があったが、興味や関心をもって臨むことの重要性を改めて感じた。

委員 中野区の生涯学習サポーターの会の事例発表で、ボランティアの主体性を維持するためにもクラウドファンディングを使って事業を行っていることを聞き、これからはそういうことも一部視野に入れる必要があるのではという啓発を受けた。

○東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について（報告）

委員 府中市の武蔵国府太鼓響会のジュニア会員である中学3年生のメンバーの話を聞き、彼はここに居場所があって、周りの大人たちとの会話を通して、コミュニケーションや生きる力を得ているのだろうと感じた。

例えば、公民館のサークルも子どもたちを迎えて活動し、大人たちが子どもたちと上下関係ではなく、一緒に活動することもコミュニティであり、これからはとても大切になるのではと思った。

<事務局報告>

【地域学習支援課】

○令和3年度青少年健全育成講演会について（報告）

委員 保健所にあるDVDなどを高校に入学する前の中学3年生に見てもらったらどうかと考えた。

事務局 意見として承る。

委員 学校薬剤師が各学校で講演をしていると聞いているが、今はどうか。

事務局 どの学校でもお薬教室というものを実施している。中学校の場合は、保健体育の授業等でDVDを活用できたらよいかと考える。

委員 小学校でも、中学校でも年に1回は薬物乱用防止教室があるので、その際にDVDを勧めたらよいと思う。

委員 本校では高学年に対して元刑事や薬物取締官が薬物中毒者の幻覚や犯罪についての話をすることで、薬物に手を出さないよう勉強をしている。また、低中学年には薬剤師が正しい薬の飲み方について実験を通して話をしてくれている。

○第39回小平市中学校生徒意見発表会について

事務局 市立中学校8校、白梅学園清修中学校及び創価中学校から各1人の合計10人が発表する予定。

今回は運営委員会で協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中学生及び運営委員等関係者のみで、来賓及び一般の来場はなしとした。

委員 参加する中学生の人数は各校で制限があるのか。

事務局 会場から遠いマイクロバスで送迎を行う学校については、コロナ対策として乗車定員いっぱいではなく、1校20名までと制限をしている。

【公民館】

○公民館主催イベント（11月）について（報告）

委員 サークルフェアについて、規模を縮小しつつも開催できたことは喜ばしい。今後の情勢変化に対応するために何か学んだことはあるか。また、参加者の感想を聞かせてほしい。

事務局 基本的な感染対策、対人距離を取る、消毒、手洗いの徹底、マスクの正しい着用を徹底して案内し、参加者もルールをきちんと守っていただいた。皆さんの協力があったのと思う。

ビデオ同好会の皆さんが各サークル紹介映像を1日中流して大変好評だった。今後もこういった取り組みを工夫していきたい。

感想は、いろいろなサークルがあることを知ることができて楽しかった。団体の一生懸命さが伝わった。活動の様子が分かり励みになる。などが参加者からあった。また、サークルからは縮小してでもリアルで開催できたことがよかった。など前向きで好意的な感想をいただいた。

委員 サークルフェアが始まった当初に関わった職員から、目的として自分たちの活動を見てもらうことで、新しい人に入会してもらうことのほかに、地域で活動につなげることもある、と当時聞いたことがある。例えば、放課後子ども教室のコーディネーターに活動を見てもらうことで、話が合えば学校での活動につなげる取組もしたいと聞いた。

事務局 サークルが地域で活躍することは、まさに社会教育の根幹になる部分だと考える。公民館の講座で生まれたサークルが、さらに学びを深めて新しいネットワークを継続して、地域で活躍することを公民館では求めている。公民館運営審議会の委員からもそういった意見がある。

<その他>

委員 なかまちテラスの今年のイルミネーションの文字「逢」にとっても感動した。皆さんの気持ちに寄り添った字を選んだのではないかと思った。